

70周年記念フォーラムの感想



【小学校部会】

- ・ フォーラムは今までの講演とは形式が異なり、とても新鮮であった。時間がたつのが早く感じ、あっという間であった。
- ・ シンポジストのみなさんがそれぞれの立場で養護教諭に対する思いを発言されていてとてもよかった。ぜひ、(支部の)研修会等にお呼びして、勉強したい。
- ・ 質問コーナーの内容が身近なものであり、また活発でよかった。
- ・ 現職養護教諭の立場からの吉田先生のお話は、具体的な仕事の工夫がたくさん聞けてよかった。特に ASUKA モデル誕生までの話や養護教諭のよいところを「はひふへほ」で例えた話などは、私たちが元気づける内容であった。

(㊤げまし上手、㊦きだし上手、㊧れあい上手、㊨んしん上手、㊩め上手)

【中学校部会】

- ・ シンポジウムという形式で、各テーマに沿って現職の養護教諭の先生や、養護教諭経験者であり管理職をなさっている先生、医療の現場、養護教諭の養成課程の教授など、様々な立場の先生方から意見を聞くことができ、大変勉強になった。
- ・ 熱く語る先生方の話を聞き、エネルギーをもらえた良いシンポジウムだった。引き込まれる内容で、あっという間に過ぎた良い時間となった。
- ・ 中学校の現場では、メンタルヘルスの問題も数多くあるため、医療との連携の点からも、医師のお立場での作田先生からのお話はとても勉強になった。

- ・ また、養護教諭の経験もあり、現在管理職として活躍されている先生の話は、学校現場で養護教諭として働く私たちへの応援メッセージと感じた。
- ・ 第2回研修会がシンポジウムでの開催と聞き、楽しみにしていた。様々な立場にある方々からのメッセージに熱意がこめられており、温かくもあり元気づけられた会であった。学校現場では、日々様々なことがあるが、今回のシンポジウムでの学びは多く、参加できたことに大変感謝している。
- ・ いろいろな立場の先生のお話が聞けた。1月の忙しい時期で、インフルエンザの流行期でもあったが、参加して本当に良かったと思えた研修会であった。
- ・ シンポジウムを会場の前方で聞くことができたため、シンポジストの先生方とより近い場所であったため、先生方の提言や質疑応答の中からのメッセージなど、思いがより間近に伝わりとても刺激を受けた。
- ・ 一つのテーマに関して様々な立場の先生の話聞くことで、日々の職務も多くの視点で予測・想定しながら取り組むことが大切だと改めて思った。もう一度、初心を思い出し頑張ろうと感じることができたフォーラムであった。

【高等学校・特別支援学校部会】

- ・ 現役養護教諭の、「1日の執務のうち1時間は、3か月先の職務をおこなっている」というお話が参考になった。
- ・ シンポジストの提言も大変良かった。シンポジストの方がそれぞれの立場から提言をいただき、学ぶことが多かった。
- ・ 提言も素晴らしかったが、質疑応答が多くあり内容がとても充実していた。
- ・ 質疑応答を通して内容が深まった。
- ・ 保健室への頻回来室者への対応について考えさせられた。
- ・ 壇上と会場が一体となり、充実したフォーラムになった。今後もこのような取組をしてほしい。
- ・ 医師がシンポジストとすることで、受診時の対応について詳しく伺うことができ参考になった。
- ・ 思春期保健、高校生の精神科受診については改めて難しいと思った。
- ・ 困り感のある生徒への対応について医師の話が役に立った。
- ・ コーディネーターの村木先生のご提言から、養護教諭として自身の強みを身に付けることも有効であると思った。

